

参考資料20
分類名〔経営〕

第三者認証GAP認証による効果（メリット）と課題

宮城県農業・園芸総合研究所

1 取り上げた理由

国の「食料・農業・農村基本計画」及び県の「みやぎ食と農の県民条例基本計画」、「みやぎ園芸特産振興戦略プラン」において、GAPの普及、拡大を推進しているが、県内では第三者認証GAP認証農場は13農場（平成29年12月時点）のみであり、GAP導入阻害の要因や第三者認証GAP認証農場の現状が明らかになっていない。そこで、県内の第三者認証GAP認証農場を調査し、効果（メリット）と課題等を明らかにしたので、参考資料とする。

2 参考資料

- 1) GAP認証農場では、従業員の作業効率、作業の遅延、農薬の在庫、総合的な生産コスト、販路拡大の改善が見られる（図1）。区分別の詳細は以下のとおりである。
 - a 穀物：従業員の責任感、自主性、従業員間の意思疎通の改善度が高い。穀物では、従業員の雇用人数が少なく、社員割合が高いためと考察される。また、生産計画・販売計画の立てやすさ、農薬使用量、肥料投入量、肥料の在庫、資材の在庫、年間売上、会社の信用度の改善度が高い。
 - b 青果物認証期間3年以上（以下、青果物3年以上とする）：作業時間の短縮、農薬使用料、肥料投入量、肥料の在庫、資材の在庫、クレーム対策、反収、会社の信用度の改善度が高い。
 - c 青果物認証期間3年未満（以下、青果物3年未満とする）：従業員の責任感、自主性、生産計画・販売計画の立てやすさ、良い等級・規格の比率、クレーム対策、反収、年間売上の改善度が高い。
- 2) GAP認証前の課題である作業効率の向上、労務安全、社員教育、5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）等は、GAPを実践することにより解決され、さらに人材育成に効果的である。しかし、GAPを実践することによって従業員意識、5Sが改善されるが、改善された状態を維持・継続していくことが、GAP実践し続けていく上で更なる課題である（表1）。GAP認証前の課題、メリット、認証後の課題に関する詳細は、以下のとおりである。
 - a GAP認証前の課題：農場のルール、データの見える化、社員・従業員の指示待ち、作業効率、5S、GAP認識不足、人材育成、社員・従業員の責任感、労務管理である。
 - b メリット：社員教育、資材費及び人件費のコスト削減、作業効率の向上、収益増加、5S、経営改善、収量増加、トレサビへの対応、労務安全、社員教育、衛生管理である。
 - c GAP認証後の課題：維持・継続していくこと、作業工程管理手法の向上、従業員意識、5S、社員の自主性である。
- 3) 費用に関して、コンサルタントによる指導（JGAP）は約15～19万円である。審査費用はJGAP約7～17万円、GLOBAL G.A.P.約32～40万円であるが、認証品目数、施設数等によって増減する。購入・修繕費用は、農薬保管庫、飛散防止型蛍光灯等の購入、水道修繕等で約15～100万円かかる。

GAPによる効果	従業員意識				生産		コスト				品質・収量			販売		信用			
	従業員の責任感	従業員の自主性	従業員間の意思疎通	従業員の作業効率	生産計画の立てやすさ	販売計画の立てやすさ	作業遅延	農薬使用量	農薬の在庫	肥料投入量	肥料の在庫	資材の在庫	総合的な生産コスト	良い等級・規格の比率	クレーム対策	反収	販路拡大	年間売上	会社の信用度
該当区分	穀物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○
	青果物3年以上			○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○
	青果物3年未満	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○		○

※4.0以上に○

図1 経営者が考えるGAPによる効果（従業員意識、生産、コスト、品質・収量、販売、信用に関する改善度の5段階評価（5改善した、4まあまあ改善した、3どちらともいえない、2あまり改善しない、1改善しない））

3 利活用の留意点

1) 県内の第三者認証GAP認証農場(9社)の経営者を対象に実施した、聞き取り調査及びアンケート調査である。GAP認証農場における区分(括弧内は認証の種類)は、穀物が2社(JGAP2社)、青果物が7社(内認証期間3年以上はJGAP1社、GlobalG.A.P.2社、認証期間3年未満はJGAP3社、GlobalG.A.P.1社)である。

(問い合わせ先：宮城県農業・園芸総合研究所情報経営部 電話022-383-8120)

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

宮城県における第三者認証GAP導入に向けた課題解明と『第三者認証GAP導入ガイド』の策定(平成29年度)

2) 参考データ

表1 GAP農場における認証前の課題、メリット、認証後の課題(n=9)

	内容	該当農場数 n=9	詳細
認証前の課題	認証前に課題があった農場数	7	大きな課題はなく、当初から整理整頓されていた。大きな課題はなかった。(青果物)
	GAP認識不足	1	社員、従業員にGAPを周知すること。(青果物3年未満)
	農場のルール	2	ルール作りができていなかった。次に何をするか分からず展開・順序が分からなかった。(青果物)
	データの見える化	2	データのシステム化、電子化、見える化が必要。見える化ができなかった。(青果物3年未満)
	人材育成	1	人材育成に關しての理想はあったが実現化できなかった。(青果物3年未満)
	社員・従業員の責任感	1	役員が責任感を持たず、他人任せだった。(穀物)
	社員・従業員の指示待ち	2	指示待ちがあった。次に何をするか分からず展開・順序が分からなかった。作業指示を出しても数日後に忘れられる。(青果物)
	社員・従業員の作業効率	2	作業で使用する物の保管場所を決めておらず、物を探す無駄な時間が多かった。道具を探す時間が無駄だった。(青果物)
	社員・従業員の労務安全	1	機械作業について気をつけて作業を行っていなかった。(穀物)
5S	2	環境整備ができず5Sが中途半端だった。整理整頓できていなかった。(穀物、青果物3年以上)	
メリット	メリットがある農場数	9	
	経営改善	1	どんぶり勘定だったのが、全て書類で見える化になったので、経営改善効果がある。(青果物3年未満)
	収益増加	2	収益向上の効果がある。収益が向上すると思う。(青果物3年未満)
	収量増加	1	収量が向上した。(青果物3年未満)
	コスト削減(資材費)	3	農業、肥料の在庫確認によるコストカット。農業、肥料、資材等の在庫管理で無駄がなくなった。農業費が減少する。(青果物)
	コスト削減(人件費)	3	労働時間の削減、人件費の削減に繋がっている。時間の無駄がなくなるので、人件費節減になる。管理しやすくなったので人件費等のコストも改善されると思う。(青果物3年未満)
	トレサビへの対応	1	トレサビに対応できる。(青果物3年以上)
	社員・従業員の作業効率	3	物の場所が分かりやすいので作業しやすくなった。労働時間の削減、人件費の削減に繋がっている。時間の無駄がなくなる。(青果物3年未満)
	社員・従業員の労務安全	1	労働安全の面でミスが減った。(青果物3年未満)
	社員教育	5	時間とともに役員の責任感が向上した感じがする。社員教育に使えるツール。自主的に行動し、指示待ちが少なくなったので人材育成効果がある。人材育成できる。社員教育に使える。(全区分)
	衛生管理	1	衛生管理のレベルが上がった。(青果物3年未満)
5S	2	喫煙場所の徹底はGAPを理由に注意しやすい。環境が良くなった。(青果物)	
その他	1	効率アップになって、規模拡大にも繋がる可能性がある。(青果物3年未満)	
認証後の課題	認証後に課題がある農場数	9	
	作業工程管理手法の向上	2	作業工程の整理をもっとしたい。帳票類。(青果物3年以上)
	従業員意識	2	従業員教育、意思疎通の向上。従業員の意識・自主性の向上。(穀物、青果物3年以上)
	社員の自主性	1	役割分担をきちんとする。(穀物)
	5S	2	喫煙場所の徹底。整理整頓を心がけても汚れる。(穀物、青果物3年未満)
	維持・継続していくこと	3	新規従業員はルール化した目的が理解できず、ルールが伝わりにくい。慣れてくるとルールを忘れる。継続することは大変である。維持・継続していくこと。(青果物)

表2 GAP認証に係る費用

GAPの種類	JGAP	GlobalG.A.P.
コンサル費用(旅費込み)	約15~19万円	-
審査費用(旅費込み)	約7~17万円	約32~40万円
購入・修繕費用	約15~100万円(農業保管庫・飛散防止型電照、水道整備等)	

3) 発表論文等 なし

4) 共同研究機関 なし